



OFFICIAL NEWS LETTER

12 Mar. 2015 Vol.225

J.LEAGUE™ NEWS



© J.LEAGUE PHOTOS

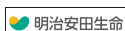
昨シーズンの国内三冠を獲得したG大阪。強力なライバルを破り、今シーズンも幸先のいいスタートを切った

ガンバ大阪が今シーズン初の公式試合に勝利

浦和レッズを下し、「FUJI XEROX SUPER CUP 2015」に優勝。8年ぶり2度目のタイトル獲得

Jリーグの2015シーズンで最初の公式試合となる「FUJI XEROX SUPER CUP 2015」が2月28日に日産スタジアムで開催され、ガンバ大阪が2-0で浦和レッズに勝利する幸先のいいスタートを切った。G大阪は5年ぶり5度目の出場で、やはり浦和を破った2007年以来の優勝。8年ぶり3度目の出場の浦和は、初出場の06年以来の優勝は成らなかった。優勝したG大阪には賞金3000万円、浦和には準優勝賞金2000万円が授与された。前シーズンのJリーグチャンピオンと天皇杯全日本サッカー選手権大会優勝チームが対戦する大会で、昨シーズンはG大阪が両大会を制したため、規定によりJ1リーグ戦2位の浦和が出場した。(2ページに関連記事)

J.LEAGUE™ TITLE PARTNER



J.LEAGUE™ TOP PARTNERS



J.LEAGUE™
100 YEAR VISION
PARTNER

LEAGUE CUP
SPONSOR

SUPER CUP
SPONSOR

J.LEAGUE™ OFFICIAL
EQUIPMENT PARTNER

J.LEAGUE™ OFFICIAL
BROADCASTING
PARTNER

SPORTS PROMOTION
PARTNER

J.LEAGUE™ OFFICIAL
TICKETING PARTNER

J.LEAGUE™
ASSOCIATE





FUJI XEROX SUPER CUP 2015



宇佐美(中央)が68分
に均衡を破る

強豪の緊迫した戦い。 ガンバ大阪の交代策が奏功

2015年2月28日 13:35キックオフ 日産スタジアム

ガンバ大阪 2 0 浦和レッズ

【得点経過】68分 1-0 (大)宇佐美 貴史
90+4分 2-0 (大)パトリック

【入場者数】4万7666人

【主審】山本 雄大 【副審】名木 利幸 / 中野 卓
【第4の審判員】廣瀬 格

昨シーズンのJ1リーグ戦、Jリーグヤマザキナビスコカップ、天皇杯全日本サッカー選手権大会の国内三冠を獲得したガンバ大阪。そのG大阪とリーグ戦の優勝を最終節まで激しく争い、1位の節が最も多かった浦和レッズ。Jリーグを代表する強豪、東西の名門対決は、前半から緊迫した展開となった。G大阪の長谷川健太監督が「我慢強く戦えた」と言えば、浦和

のペトロヴィッチ監督も「非常にコントロールできた」と前半について語ったように、強豪同士が充実の試合運びを見せれば、簡単には得点チャンスが生まれない。

この流れを変えたのは後半の選手交代で、見事に実を結んだのがG大阪だった。63分に起用したFWパトリックが、FW宇佐美貴史とのコンビで攻め込み右コーナーキックを獲得。これをMF遠藤保仁が蹴ると、パトリックがヘディングでつなぎ、落下点に走り込んだ宇佐美がワンタッチシュートでゴールネットを揺らした。

その後は浦和の反撃をしのぎながら、宇佐美に代わって出場のFWリンスらが素早い攻めを狙う。後半アディショナルタイム4分には、右サイドからドリブルで持ち込んだパトリックが勝利



G大阪の丹羽大輝は守備の中心で無失点に大きく貢献



浦和は左サイドで関根貴大がドリブルで果敢に仕掛けた

をほぼ決定づける追加点を挙げ、2-0のスコアで試合終了。長谷川監督は「セットプレーで先制できたのが大きかった」と、得意の得点パターンを勝因の一つに挙げた。一方、浦和のペトロヴィッチ監督は「われわれのサッカーを見せただけに、負けは残念」と悔しさをにじませた。

入場者数は4万7666人で、大会史上3番目の多さ。Jリーグ草創期の1994、95年を除けば最多となった。また、本大会に先立って行われた「FUJI XEROX SUPER CUP 2015 NEXT GENERATION MATCH」は、日本高校サッカー選抜が2-1でU-18 Jリーグ選抜を下し、通算成績は2勝2分2敗となった。

村井 満 Jリーグチェアマンの試合後コメント

「本日は、4年ぶりに日産スタジアムでの開催となりましたが、昨年に続き4万人を超える、4万7666人という大変多くのお客さまにご来場いただきました。心から感謝申し上げます。AFCチャンピオンズリーグを戦った後の試合ということもあり、前半は静かな入りとなりましたが、後半はゴール前の展開の多い見応えのある試合内容でした。ことし、新しい試みとして、明治安田生命 J1リーグの開幕に合わせて選手の動きを追尾してデータを取得するトラッキングシステムを本格的に導入します。本大会においても試験的に運用を行いました。順調に仕上がっています。明治安田 J1における2ステージ+チャンピオンシップ制の採用に合わせ、新たな楽しみを提供できるシーズンとなります。選手たちは一戦一戦を緩めることなく戦ってくれると信じています。ファン・サポーターの皆さまには、われわれの新たなチャレンジをぜひ楽しんでいただきたいと思います」



キックオフ前にはG大阪の遠藤(左)、浦和の阿部の両キャプテンが試合の質の向上を図る「+Quality」宣言を行った



富士ゼロックス株式会社の山本忠人 代表取締役社長(右)がG大阪キャプテンの遠藤に優勝杯を授与



©J.LEAGUE PHOTOS



©J.LEAGUE PHOTOS

Jリーグ親善大使のフォーリンデブ
★はっしーさんもグルメを堪能



©J.LEAGUE PHOTOS

これも恒例となったJ1、J2のマスコット集合。栄えあるセンターポジションを獲得したのは、Jリーグマスコット総選挙で1位となったサンフレッチェ広島の「サンチェ」

2015シーズンを戦うJ1・J2・J3の53チーム

2015シーズンの明治安田生命Jリーグは、J1の18チーム、J2の22チーム、J3の13チームという計53チームが参加。各クラブのスローガン、チームを指揮する監督などを紹介する。



明治安田生命

J1 LEAGUE

ペガサス仙台		渡邊 晋 監督	
	挽回 SENDAI 2015	ホーム 仙台市	
ホーム スタジアム	ユアテックススタジアム 仙台		
昨シーズンのリーグ戦順位 14位			

ヴァンフォーレ甲府		樋口 靖洋 監督	
	一本 プロダクション・横瀬	ホーム 甲府市、韮崎市を中心とする全県	
ホーム スタジアム	山梨中銀スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 13位			

モンテディオ山形		石崎 信弘 監督	
	山形総力戦	ホーム 山形市、天童市、鶴岡市を中心とする全県	
ホーム スタジアム	NDソフトスタジアム 山形		
昨シーズンのリーグ戦順位 6位 (J2)			

松本山雅FC		反町 康治 監督	
	One Soul 走破! その先を目指して	ホーム 松本市、塩尻市、山形村、安曇野市	
ホーム スタジアム	松本平広域公園 総合球技場		
昨シーズンのリーグ戦順位 2位 (J2)			

鹿島アントラーズ		トニーニョ セレーゾ 監督	
	RISE TO THE CHALLENGE 覚悟	ホーム 鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、銚田市	
ホーム スタジアム	県立カシマサッカー スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 3位			

アルビレックス新潟		柳下 正明 監督	
	GOAL!	ホーム 新潟市、聖籠町	
ホーム スタジアム	デンカビッグスワン スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 12位			

浦和レッズ		ペトロヴィッチ 監督	
	プラスワンで「チャレンジ」!	ホーム さいたま市	
ホーム スタジアム	埼玉スタジアム2002		
昨シーズンのリーグ戦順位 2位			

清水エスパルス		大槻 克己 監督	
	Heat Attack Express Beyond the Limit!	ホーム 静岡市	
ホーム スタジアム	IAIスタジアム日本平		
昨シーズンのリーグ戦順位 15位			

柏レイソル		吉田 達磨 監督	
	MORE	ホーム 柏市	
ホーム スタジアム	日立柏サッカー場		
昨シーズンのリーグ戦順位 4位			

名古屋グランパス		西野 朗 監督	
	捷 moving	ホーム 名古屋市、豊田市、みよし市を中心とする全県	
ホーム スタジアム	名古屋瑞穂陸上競技場、 豊田スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 10位			

FC東京		マッシモ フィッカデンティ 監督	
	Bello e Aggressivo! —すべては勝利のために—	ホーム 東京都	
ホーム スタジアム	味の素スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 9位			

ガンバ大阪		長谷川 健太 監督	
	Moving G	ホーム 吹田市、茨木市、高槻市、豊中市	
ホーム スタジアム	万博記念競技場		
昨シーズンのリーグ戦順位 1位			

川崎フロンターレ		風間 八宏 監督	
	attractive	ホーム 川崎市	
ホーム スタジアム	等々力陸上競技場		
昨シーズンのリーグ戦順位 6位			

ヴィッセル神戸		ネルシーニョ 監督	
	一致団結 ONE TEAM, ONE FAMILY, ONE DREAM	ホーム 神戸市	
ホーム スタジアム	ノエビアスタジアム 神戸		
昨シーズンのリーグ戦順位 11位			

横浜F・マリノス		エリック モンバエルツ 監督	
	Integral Goal —All for Win—	ホーム 横浜市、横浜賀市	
ホーム スタジアム	日産スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 7位			

サンフレッチェ広島		森保 一 監督	
	結集 WE FIGHT TOGETHER 2015	ホーム 広島市	
ホーム スタジアム	エディオンスタジアム 広島		
昨シーズンのリーグ戦順位 8位			

湘南ベルマーレ		青 貴哉 監督	
	証明 SHONAN BELMARE	ホーム 厚木市、伊勢原市、小田原市、茅ヶ崎市、秦野市、平塚市、藤沢市、大磯町、寒川町、二宮町	
ホーム スタジアム	Shonan BMW スタジアム平塚		
昨シーズンのリーグ戦順位 1位 (J2)			

サガン鳥栖		森下 仁志 監督	
	鳥栖 Near Dream	ホーム 鳥栖市	
ホーム スタジアム	ベストアメニティ スタジアム		
昨シーズンのリーグ戦順位 5位			



明治安田生命

J2 LEAGUE

コンサドーレ札幌		バルバリッチ 監督	
		ホームタウン 札幌市	
		ホームスタジアム 札幌ドーム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 10位	

京都サンガF.C.		和田 昌裕 監督	
		ホームタウン 京都市、宇治市、城陽市、向日市、長岡京市、京田辺市、木津川市、亀岡市	
		ホームスタジアム 京都市西京極総合運動公園 陸上競技場兼球技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 9位	

水戸ホーリーホック		柱谷 哲二 監督	
		ホームタウン 水戸市	
		ホームスタジアム ケースデンキスタジアム水戸	
		昨シーズンのリーグ戦順位 15位	

セレッソ大阪		パウロ アウトウオリ 監督	
		ホームタウン 大阪市、堺市	
		ホームスタジアム キンチョウスタジアム、ヤンマースタジアム長居	
		昨シーズンのリーグ戦順位 17位(J1)	

栃木 SC		阪倉 裕二 監督	
		ホームタウン 宇都宮市	
		ホームスタジアム 栃木県グリーンスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 12位	

ファジアーノ岡山		長澤 徹 監督	
		ホームタウン 岡山市、倉敷市、津山市を中心とする全県	
		ホームスタジアム シティライトスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 8位	

ザスバクサツ群馬		服部 浩紀 監督	
		ホームタウン 草津町、前橋市を中心とする全県	
		ホームスタジアム 正田醤油スタジアム群馬	
		昨シーズンのリーグ戦順位 18位	

カマタマーレ讃岐		北野 誠 監督	
		ホームタウン 高松市、丸亀市を中心とする全県	
		ホームスタジアム 香川県立丸亀競技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 21位	

大宮アルディージャ		渋谷 洋樹 監督	
		ホームタウン さいたま市	
		ホームスタジアム NACK5スタジアム大宮	
		昨シーズンのリーグ戦順位 16位(J1)	

徳島ヴォルティス		小林 伸二 監督	
		ホームタウン 徳島市、鳴門市、美馬市、板野町、松茂町、藍住町、北島町を中心とする全県	
		ホームスタジアム 鳴門・大塚スポーツパーク ボカリスエツスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 18位(J1)	

ジェフユナイテッド千葉		関塚 隆 監督	
		ホームタウン 市原市、千葉市	
		ホームスタジアム フクダ電子アリーナ	
		昨シーズンのリーグ戦順位 3位	

愛媛 FC		木山 隆之 監督	
		ホームタウン 松山市を中心とする全県	
		ホームスタジアム ニンジニアスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 19位	

東京ヴェルディ		富樫 剛一 監督	
		ホームタウン 東京都	
		ホームスタジアム 味の素スタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 20位	

アビスパ福岡		井原 正巳 監督	
		ホームタウン 福岡市	
		ホームスタジアム レベルファイブスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 16位	

横浜 FC		ミロシュ ルス 監督	
		ホームタウン 横浜市	
		ホームスタジアム ニッパツミツ沢球技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 11位	

ギラヴァンツ北九州		柱谷 幸一 監督	
		ホームタウン 北九州市	
		ホームスタジアム 北九州市立本城陸上競技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 5位	

ツエーゲン金沢		森下 仁之 監督	
		ホームタウン 金沢市、野々市市、かほく市、津幡町、内灘町を中心とする全県	
		ホームスタジアム 石川県西部緑地公園 陸上競技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 1位(J3)	

V・ファーレン長崎		高木 琢也 監督	
		ホームタウン 長崎市、諫早市を中心とする全県	
		ホームスタジアム 長崎県立総合運動公園 陸上競技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 14位	

ジュビロ磐田		名波 浩 監督	
		ホームタウン 磐田市	
		ホームスタジアム ヤマハスタジアム(磐田)	
		昨シーズンのリーグ戦順位 4位	

ロアッソ熊本		小野 剛 監督	
		ホームタウン 熊本市	
		ホームスタジアム うまかな・よかなスタジアム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 13位	

FC岐阜		ラモス 瑠偉 監督	
		ホームタウン 岐阜市を中心とする全県	
		ホームスタジアム 岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	
		昨シーズンのリーグ戦順位 17位	

大分トリニータ		田坂 和昭 監督	
		ホームタウン 大分市、別府市、佐伯市を中心とする全県	
		ホームスタジアム 大分銀行ドーム	
		昨シーズンのリーグ戦順位 7位	



明治安田生命

J3 LEAGUE

グルージャ盛岡  進化 Evolution	鳴尾 直軌 監督 ホームタウン 盛岡市 ホームスタジアム 盛岡南公園球技場 昨シーズンのリーグ戦順位 5位	
ブラウブリッツ秋田  闘	間瀬 秀一 監督 ホームタウン 秋田市、由利本荘市、にかほ市、男鹿市を中心とする全県 ホームスタジアム あきぎんスタジアム 昨シーズンのリーグ戦順位 8位	
福島ユナイテッドFC  Link FUFU BURNING 2015	栗原 圭介 監督 ホームタウン 福島市を中心とする全県 ホームスタジアム とうほう・みんなのスタジアム 昨シーズンのリーグ戦順位 7位	
FC町田ゼルビア  +	相馬 直樹 監督 ホームタウン 町田市 ホームスタジアム 町田市立陸上競技場 昨シーズンのリーグ戦順位 3位	
Y.S.C.C.横浜  Challenge is fun!!	有馬 賢二 監督 ホームタウン 横浜市 ホームスタジアム ニッパツ三ツ沢球技場 昨シーズンのリーグ戦順位 12位	
SC相模原  一丸突進	辛島 啓珠 監督 ホームタウン 相模原市 ホームスタジアム 相模原ギオンスタジアム 昨シーズンのリーグ戦順位 6位	

AC長野パルセイロ  Strong 心・情・進	美濃部 直彦 監督 ホームタウン 長野市、須坂市、中野市、飯山市、千曲市、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、木島平村、野次馬原村、飯綱町、飯綱町、小川村、栄村 ホームスタジアム 南長野運動公園総合運動場総合球技場 昨シーズンのリーグ戦順位 2位	
カターレ富山  J萬2雫	岸野 靖之 監督 ホームタウン 富山市を中心とする全県 ホームスタジアム 富山県総合運動公園陸上競技場 昨シーズンのリーグ戦順位 22位(J2)	
藤枝MYFC  建	大石 篤人 監督 ホームタウン 藤枝市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、川根本町 ホームスタジアム 藤枝総合運動公園サッカー場 昨シーズンのリーグ戦順位 11位	
ガイナレ鳥取  鷲 奮迅	松波 正信 監督 ホームタウン 鳥取市、米子市、倉吉市、境港市を中心とする全県 ホームスタジアム とりぎんバードスタジアム 昨シーズンのリーグ戦順位 4位	
レノファ山口FC  ALL for TEAM	上野 展裕 監督 ホームタウン 山口市、下関市、山陽小野田市を中心とする全県 ホームスタジアム 維新百年記念公園陸上競技場 昨シーズンのリーグ戦順位 4位(JFL)	
FC琉球  鳥魂 TOUKON	薩川了洋 監督 ホームタウン 沖縄市を中心とする全県 ホームスタジアム 沖縄県総合運動公園陸上競技場 昨シーズンのリーグ戦順位 9位	
Jリーグ・アンダー-22選抜  —	高畠 勉 監督 ホームタウン — ホームスタジアム — 昨シーズンのリーグ戦順位 10位	

「2015 Jリーグ新人研修」開催

Jリーグは2月1～3日の3日間、静岡県で「2015 Jリーグ新人研修 集合研修会」を開催した。新たにJクラブに加入する新卒選手に、昨年の研修に参加できなかった選手を合わせ、J1・J2・J3の42クラブから計125人が参加。プロサッカー選手として備えるべき考え方、姿勢、知識やスキルについて、共に元日本代表でもある戸田和幸さん、山口素弘さんというJリーグ選手OBや専門家を招き、講義やグループワークの形式で研修を実施した。

冒頭では戸田さんから、「プロフェッショナルとは」というテーマで、新たにプロサッカー選手としての第一歩を踏み出した選手たちへメッセージが送られた。選手たちは真剣に耳を傾け、これから自分がどのような選手を目指すかに思いをはせている様子だった。

その後、Jクラブのビジネス、ルールテスト・フェアプレー、PRコミュニケーション、税金、ライフプランなど、多岐にわたるテーマに精力的に取り組んだ。



研修会は戸田さんからのメッセージで始まった



選手の身近で語りかけたJリーグの村井 満チエマン



講師の話に真剣に耳を傾ける選手たち



PRコミュニケーションでは選手同士で模擬インタビュー



2015シーズン開幕も近づき、講義の合間には自主トレも

AFCチャンピオンズリーグが開幕

アジアのクラブチャンピオンを決めるAFCチャンピオンズリーグ(ACL)が開幕し、3月4日までに各チームがグループステージの2試合を戦った。日本からは昨シーズンのJ1リーグ戦優勝のガンバ大阪、同2位の浦和レッズ、同3位の鹿島アントラーズ、さらに同4位でプレーオフを勝ち抜いた柏レイソルの4チームが出場。グループステージは4チームずつ8グループに分かれ、ホーム&アウェイによる2回戦総当たりリーグ戦。各グループ上位2チームの計16チームがノックアウトステージに進出する。



2得点を挙げる活躍で勝利に貢献した柏の工藤

AFCチャンピオンズリーグ2015 グループステージ組み合わせ(日本関連分)	
【グループE】	全北現代モータース(韓国)、山東魯能(中国)、ビン・ズオン(ベトナム)、 柏レイソル(日本)
【グループF】	ガンバ大阪(日本) 、城南FC(韓国)、プリーラム・ユナイテッド(タイ)、広州富力(中国)
【グループG】	ブリスベン・ロアー(オーストラリア)、 浦和レッズ(日本) 、水原三星ブルーウイングス(韓国)、北京国安(中国)
【グループH】	広州恒大(中国)、ウェスタン・シドニー・ワンダラーズ(オーストラリア)、 鹿島アントラーズ(日本) 、FCソウル(韓国)

2007年の浦和、08年のG大阪に続くアジア制覇を目指す日本勢で、好スタートを切ったのが柏だ。2月24日の初戦はアウェイで、06年王者の全北現代モータースと対戦。シュート数で5-16と下回る展開も、GK菅野孝憲ら守備陣の健闘で0-0の引き分けに持ち込んだ。3月3日にビン・ズオンをホームに迎えた第2戦は、42分に先制点を決めたFW工藤壮人の2得点などで5-1と大勝。勝点4で全北と並びながらも、この時点で得失点差による首位に立った。

G大阪、浦和、鹿島は2連敗と厳しいスタート。ホームで行われた2月25日の第1戦で昨年のチャンピオン、ウェスタン・シドニー・ワンダラーズと対戦した鹿島は、先制されて一度は同点としたものの、開幕前にサンフレッチェ広島



鹿島のカイオ(左)がドリブル突破を図る。右は川崎Fから移籍したウェスタン・シドニーの田中裕介

から移籍したMF高萩洋次郎に勝ち越し点を許し、1-3で敗れた。

各チームの第3戦は3月17日(火)、18日(水)。グループステージは5月5日(火・祝)、6日(水・休)まで行われ、ホーム&アウェイの決勝は11月7日(土)、21日(土)に予定されている。

J.LEAGUE™・スカパー! New Year Cup 「2015 Jリーグ・スカパー! ニューイヤーカップ」開催

2015シーズン開幕に先立ち、プレシーズン大会として、2月1~14日に九州の宮崎県、鹿児島県を舞台に「2015 Jリーグ・スカパー! ニューイヤーカップ」が開催された。JリーグとJリーグオフィシャルブロードキャスティングパートナーのスカパーJSAT株式会社が主催し、宮崎ラウンド(1~7日)には鹿島アントラーズ、アビスパ福岡、大分トリニータの3チーム、鹿児島ラウンド(8~14日)には浦和レッズ、清水エスパルス、ジュビロ磐田、ロアッソ熊本の4チームが参加した。

これまで各クラブが個別に実施していたシーズン前のトレーニングマッチを、一つの大会として集中開催した。大会開催によって、2015シーズン開幕に向けたJクラブの準備状況をより多くのファン・サポーターに伝え、開幕への期待感を醸成することが狙い。また、Jクラブ



鹿児島ラウンドで優勝した浦和

のホームタウンがない宮崎県、鹿児島県で開催することによって、地域におけるJクラブの存在意義をあらためて発信する機会とした。

大会は両ラウンドとも、参加チームが1回戦総当たりリーグ戦を実施し、勝点で順位を決定。宮崎ラウンドでは2戦2勝の鹿島、鹿児島ラウンドでは2勝1分の浦和が、それぞれ優勝した。



伊藤祐一郎 鹿児島県知事(左)と談笑するJリーグの村井 チェアマンと大河常務理事(右)

優勝クラブには賞金300万円と優勝杯が授与され、2位に100万円、3、4位に各50万円の賞金が贈られた。

なお、鹿児島ラウンドに足を運んだJリーグの村井 満チェアマンが13日、大河正明 Jリーグ常務理事と共に、鹿児島県知事、鹿児島市長を表敬訪問した。

ガンバ大阪がプレシーズンにインドネシア遠征



先制点を挙げた宇佐美

©GAMBA OSAKA

ガンバ大阪が1月23~25日、インドネシアに遠征し、現地チームとの試合、フットボールクリニックなどを行った。大会名称は「Jリーグ・インドネシアスーパーリーグパートナーシップ協定締結1周年記念マッチ WAKUWAKU JAPAN 開局1周年記念 パナソニックカップ2015」(主催: Jリーグ、PT LIGA INDONESIA)。

23日に同国の首都ジャカルタ入りした一行は、日本大使館を表敬訪問。同日には試合会場のブンカルノ・スタジアムで前日公式会見も行われ、約100人のメディアが詰め掛けるな

ど、大会への関心の高さをうかがわせた。

翌24日の試合では同国の強豪、ペルシジャ・ジャカルタと対戦。約2万5000人の入場者が見守る中、G大阪は前半にFW宇佐美貴史が先制し、後半にもFWのリンス(2点)、バトリックが決めて4-0と快勝した。

25日にはG大阪の全選手、スタッフが参加して、ブンカルノ・スタジアム横の練習場でフットボールクリニックを開催。ジャカルタ在住の日本人小学生約60人が、選手らとミニゲームを行うなど、交流を楽しんだ。



「+Qualityプロジェクト」における2015シーズンの取り組み

Jリーグは、2012シーズンより、Jリーグの試合を観戦するお客さまにより魅力的な試合を提供するために「+Quality (プラスクオリティ) プロジェクト」を発足し、異議行為・遅延行為の減少、アクチュ

アルプレーイングタイムの増加などに取り組んでいる。

2015シーズンは、選手、監督、審判、クラブ、リーグが一体となって、4つの約束を通してアクチュアルプレーイングタイムを延ばし、魅力的でエキサイティングなサッカーを提供する。

2015シーズン 4つの約束

- [1] 簡単に倒れない、倒れても笛が鳴るまでプレーをやめない。
- [2] リスタートを早くしよう。
- [3] 選手交代を早くしよう。
- [4] 異議・遅延はゼロを目指そう。

プロジェクトの実践項目

※2015シーズンからの実施事項

- 簡単に倒れない、倒れても笛が鳴るまでプレーをやめない
試合を見てくださるお客さまに90分間満足できる時間を提供するために、全力でプレーする。
- スムーズなリスタート、選手交代の時間短縮
ゴールキック、コーナーキックなど、試合のリスタートや選手交代をスムーズに行い、アクチュアルプレーイングタイムの増加を目指す。
- 異議行為・遅延行為の減少
試合の魅力を削ぐ行為の一つである、異議行為・遅延行為の減少への取り組み。同行の減少を目的に罰則を強化し、通常警告を受けた際の加算ポイントより、異議行為・遅延行為による警告は1ポイント多く加算される。
- 節ごとに各種データを公開
魅力的で、質の高い試合を目指す上での指標の一つとして、実際の試合時間を計測した「アクチュアルプレーイングタイム」、「異議・遅延による警告数」、「リスタート・選手交代にかかった時間」をJリーグウェブサイトで公表。異議行為や遅延行為など、お客さまの観戦時間を空費する行為を減らすことで、アクチュアルプレーイングタイムの増加を目指す。
- Jリーグ憲章への署名
Jリーグに所属する全ての選手、監督およびチームスタッフ、クラブ代表者が、同プロジェクトに取り組む上での決意と共通認識を示すため「Jリーグ憲章」を制定。毎シーズン開幕前に同憲章に選手、監督およびチームスタッフ全員が合意、署名する。
- ハーフタイム15分間の確保およびキックオフ遅れの反則ポイントへの算入
ハーフタイムを15分間明確に確保することで、後半の試合の質を向上させる。また、前後半キックオフ時刻遅延分を、反則ポイントに加算する。
- 相手選手、審判へのリスペクト
相手選手、審判を尊敬し、大切に思うことで、フェアプレーを推進し、試合の質向上を目指す。
- 差別行為の撲滅
差別的、あるいは侮辱的な発言や行為によって、人の尊厳を害するあらゆる行為を撲滅する。
- FUJI XEROX SUPER CUP における両チームキャプテンによる+Quality宣言※
試合開始前に両チームキャプテンにより、+Qualityを宣言する。

チェアマンと選手会の共同メッセージ

Jリーグは、2012シーズンより、試合自体の魅力向上を目指すための新たな取り組みとして、「+Qualityプロジェクト」を発足し、選手、監督、審判、クラブ、リーグが一体となり、試合中の異議行為や遅延行為などお客さまにとって不快となりうるプレーをなくし、フェアで、クリーンで、スピーディーで、タフな試合の実現を目指してきました。本プロジェクト発足から3シーズンを終えましたが、当初の目標であった異議・遅延行為については、全体的に減少しており、プロジェクトの一定の効果が見られました。この点については引き続き関係者全員で取り組み、ゼロを目指します。

今シーズンは、下記4点を重点項目として取り組み、お客さまの大切な観戦時間＝アクチュアルプレーイングタイムを延ばし、魅力的でエキサイティングなサッカーを提供することを約束します。

1. 簡単に倒れない、倒れても笛が鳴るまでプレーをやめない。
2. リスタートを早くしよう。
3. 選手交代を早くしよう。
4. 異議・遅延はゼロを目指そう。

上記4点について、選手、監督、審判、クラブ、リーグが一体となって取り組むことを誓います。

2015シーズン開幕にあたり

Jリーグチェアマン 村井 満

日本プロサッカー選手会 会長 佐藤 寿人

Jリーグトラッキングシステムの導入を決定

Jリーグは、株式会社Jリーグメディアプロモーションおよびデータスタジアム株式会社と協力し、実用化を目指してテスト運用を実施していたトラッキングシステムを、2015 明治安田生命 J1リーグの全試合で導入することを決定した。同システムで取得したデータは、Jリーグ全体の競技力の向上、Jリーグウェブサイト「Jリーグ.jp」(URL: http://www.jleague.jp/)でのアニメーション速報をはじめとしたコンテンツ生成などに活用する。

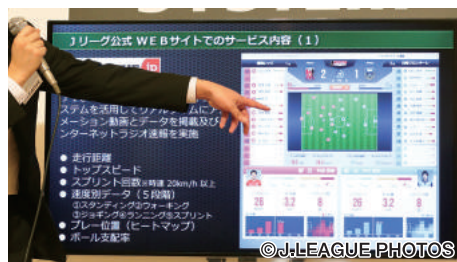
同システムは、軍事技術として使われる自動追尾(トラッキング)システムを応用したもので、CHYRONHEGO社の「Tracab(トラキャブ)」

を採用。スタジアムに設置された計6台(3台×2)の専用カメラでピッチ全体を撮影し、選手、ボール、審判の動きを追尾する。走行距離、走行スピード、プレーの位置やボールの動きなどのデータをリアルタイムで取得することができる。このシステムはスペイン、ドイツ、イングランドなど、欧州の主要リーグでも採用されている。

Jリーグ.jpで提供が予定されるサービスは、明治安田 J1 で毎節1試合、アニメーションおよびインターネットラジオ速報を行い、プレー位置、トップスピード、走行距離、スプリント(時速20km/h以上)回数などを掲載。また、J1 全試合について走行距離、スプリント(時速20km/h

以上)回数の掲載が予定されている。

同システムをチームの戦力分析・強化・育成、審判の技術や規律の向上に役立てるとともに、試合中継、ニュース番組、ウェブコンテンツなどファン・サポーターに向けた新たな観戦方法の提供というサービスの拡充にもつなげる。



2015 Jリーグプレスカンファレンスで説明会を実施

Jリーグヒューマンキャピタル(JHC) Jリーグ・立命館「JHC教育研修コース」開講決定

Jリーグは、プロサッカークラブの経営人材開発・育成を目的として今シーズンより実施する「Jリーグヒューマンキャピタル(JHC)」の教育機関提携事業として、立命館大学との協働による「Jリーグ・立命館「JHC教育研修コース」立命館マネジメント講座(基礎)」を本年5月より開講することを決定した。JFAハウスで1月30日に記者会見を行い、Jリーグの村井満チェアマン、学校法人立命館の長田豊臣理事長が出席して概要説明などが行われた。

第1ステップとなる教育研修コースは2年間で



会見に出席した長田理事長(右)と村井チェアマン

想定し、1年次は立命館大学が提供するビジネススクール科目、スポーツビジネス科目、同大と提携してJリーグが提供するJリーグ・Jクラブ

科目を講義する。2年次は、1年次終了後により高度で実践的な知識・経験の修得を希望する受講者から若干名の選抜を行い、Jリーグと有期雇用の上、JリーグやJクラブで実践的な研修を行うJリーグ研修(実践)を通じて将来のキャリアデザインへとつなげていく。

対象はプロスポーツビジネスに関心のある社会人で定員は50人。立命館東京キャンパスおよびJFAハウスで、原則として平日(火・木曜日)夜間に講義を行う。修了時に立命館大学とJリーグによる履修証明書が発行される。受講者選考の面接審査に自ら臨む意欲も見せた村井チェアマンは「胆力、行動力、国際的な視点を持ち、コミュニケーション能力もあるという欲張った人材を求めたい」と抱負を述べた。

Jリーグチャンピオンシップ、 Jリーグヤマザキナビスコカップに おける累積警告の消滅について

Jリーグは2月23日に開催した理事会で、JリーグチャンピオンシップおよびJリーグヤマザキナビスコカップ決勝トーナメントの累積警告の消滅について、下記のとおり決定した。

【導入するルール】
〈Jリーグチャンピオンシップ〉
Jリーグチャンピオンシップ準決勝終了後に累積警告が1回の場合、その警告は決勝に持ち越さない。
※ Jリーグチャンピオンシップ決勝第2戦において、累積警告による出場停止が発生する機会をなくす
Jリーグチャンピオンシップ準決勝終了後に累積警告が2回の場合、Jリーグチャンピオンシップ決勝第1戦が出場停止となる

例1

決勝第2戦：出場可
決勝第1戦：警告（1回目）
※準決勝終了後に1回目の累積警告は消滅

準決勝

1回戦
警告（1回目）

年間勝点
1位

例2

決勝第2戦：出場可
決勝第1戦：出場不可
※出場停止となった累積警告は消滅しない

準決勝

警告（2回目）

1回戦
警告（1回目）

年間勝点
1位

〈Jリーグヤマザキナビスコカップ決勝トーナメント〉
Jリーグヤマザキナビスコカップ準々決勝第2戦終了後に累積警告が1回の場合、その警告は準決勝に持ち越さない。
※累積警告により決勝の出場停止が発生するのは、準決勝第1戦、第2戦で警告を受けた場合のみとなる

チームA 決勝：出場可

決勝

チームB 決勝：出場不可

準決勝第2戦 警告（1回目）
準決勝第1戦

累積警告消滅ライン
（準々決勝第2戦終了後）

準決勝第2戦 警告（2回目）
準決勝第1戦 警告（1回目）

準々決勝第2戦 警告（1回目）
準々決勝第1戦

チームA

チームB

【導入目的】
JリーグチャンピオンシップおよびJリーグヤマザキナビスコカップの決勝において、累積警告による出場停止が発生する機会をなくす、または減らすため。

不適切な会計処理に対し 愛媛FCに制裁を決定

Jリーグの村井 満チェアマンは、愛媛FCの不適切な会計処理について裁定委員会に諮問し、以下のとおり制裁を決定した。

制裁内容	
1. 対象クラブ	株式会社愛媛FC
2. 対象事実	2012(平成24)年度および13(平成25)年度の決算において、愛媛FCの元経理担当者が、収入の過大計上および経費の過少計上、さらには、伝票の未入力などの手法により不適切な会計処理を行うことで、本来は当期純利益が2期連続で赤字となっていたものを、2期連続黒字として報告していた。
3. 制裁内容	(1)けん責(始末書ととり、将来を戒める) (2)制裁金300万円
4. 制裁の理由	以下の理由により、本件制裁を決定した。 (1) 今回の違反行為は、「Jリーグ規約」第3条[遵守義務]第2項および「Jリーグ規約」第23条[健全経営]第3項の違反に該当する。(詳細は下の6. 参照) (2) 当該元経理担当者の上記行為により、「本来赤字決算により発生することなかった税金の納付」が愛媛FC側に発生した。一方、約3年間にわたる内部統制機能の欠陥により本件を看過してきた同社の管理監督責任は重大である。 (3) 外部の第三者による追加調査の結果、不適切な会計処理に至る経緯においては、同社役員などから当該元経理担当者への意図的な指示・命令はなく、従って組織の直接的関与はなかったと認められる。 (4) 元経理担当者による横領・着服の事実は見受けられなかった。 (5) 元経理担当者の動機や虚偽記載の方法に関しても、過度の悪質性は見受けられなかった。 (6) 本件発生により、Jリーグのクラブライセンス制度および他のJクラブの経営開示情報などの信頼性を著しく損ねる事態に至った。
5. 適用条項	「Jリーグ規約」 第141条[チェアマンによる制裁および調査]第1項 第142条[制裁の種類]第1項第1号、第2号
6. その他	〈参考「Jリーグ規約」〉 第3条[遵守義務] (2) Jリーグ関係者は、第1条のJリーグの目的達成を妨げる行為および公序良俗に反する行為を行ってはならない。 第23条[健全経営] (3) Jクラブは、前項の書類に虚偽の記載をしてはならない。

2015年 Jリーグのパートナー

Jリーグは1月20日に開催した理事会で、独立行政法人日本スポーツ振興センターとスポーツ振興パートナー契約、同30日には日本航空株式会社(2014年はJ3リーグオフィシャルパートナー)とJリーグアソシエイト契約、3月5日には株式会社ECCとJリーグトップパートナー契約を、それぞれ締結することを決定した。

カテゴリ／契約社名	契約区分	契約開始年
Jリーグタイトルパートナー		
明治安田生命保険相互会社	新規	2015年～
Jリーグトップパートナー		
キャノン株式会社／キャノンマーケティングジャパン株式会社	継続	1996年～
株式会社アイデム	継続	2005年～
日本コカ・コーラ株式会社	継続	2009年～
株式会社ジェーシービー	継続	2012年～
明治安田生命保険相互会社	継続	2014年～
ルートインジャパン株式会社	新規	2015年～
株式会社コロブラ	新規	2015年～
株式会社ECC	新規	2015年～
Jリーグ百年構想パートナー		
朝日新聞社	継続	2003年～
スーパークップスポンサー		
富士ゼロックス株式会社	継続	1994年～
Jリーグオフィシャルチケットングパートナー		
びあ株式会社	継続	2012年～
スポーツ振興パートナー		
独立行政法人日本スポーツ振興センター	継続	2003年～
Jリーグアソシエイト		
日本航空株式会社	新規	2015年～
リーグカップスポンサー		
ヤマザキナビスコ株式会社	契約期間中	1992年～
Jリーグオフィシャルエキップメントパートナー		
アディダス ジャパン株式会社	契約期間中	2005年～
株式会社モルテン	契約期間中	1993年～
Jリーグオフィシャルブロードキャストパートナー		
スカパーJSAT株式会社	契約期間中	2007年～
*アディダス ジャパン株式会社／株式会社モルテンは2014年からのJ3リーグオフィシャルパートナー契約を含む *スカパーJSAT株式会社は2014年からのJ3リーグオフィシャルブロードキャストパートナー契約を含む *独立行政法人日本スポーツ振興センターは2014年からのスポーツ振興パートナー(J3)契約を含む ■契約カテゴリ Jリーグアソシエイト：Jリーグ・アンダー-22選抜および当該リーグをサポートするカテゴリ。		

実行委員選任

Jリーグは1月20日に開催した理事会で、以下のように実行委員の変更を承認した。

実行委員			敬称略
クラブ名	変更前	変更後	
F C東京	阿久根 謙司 東京フットボールクラブ株式会社 代表取締役社長	大金 直樹(おがね なおき) 東京フットボールクラブ株式会社 代表取締役社長	
松本山雅FC	大月 弘士 株式会社松本山雅 代表取締役社長	神田 文之(かんだ ふみゆき) 株式会社松本山雅 代表取締役社長	
セレッソ大阪	岡野 雅夫 大阪サッカークラブ株式会社 代表取締役社長	玉田 稔(ただみ のる) 大阪サッカークラブ株式会社 代表取締役社長	

Jリーグは2月23日に開催した理事会で、以下のように実行委員の変更を承認した。

実行委員			敬称略
クラブ名	変更前	変更後	
AC長野パルセイロ	丹羽 洋介 株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ 代表取締役社長	堀江 三定(ほりえ みつさだ) 株式会社長野パルセイロ・アスレチッククラブ 代表取締役社長	
清水エスパルス	竹内 康人 株式会社エスパルス 代表取締役社長	左伴 繁雄(ひだりとも しげお) 株式会社エスパルス 代表取締役社長	
ジュビロ磐田	高比良 慶朗 株式会社ジュビロ 代表取締役社長	木村 稔(きむら のる) 株式会社ジュビロ 代表取締役社長 ※3月31日付で同職に就任予定	
ヴィッセル神戸	清水 克洋 株式会社クリムゾンフットボールクラブ 代表取締役社長	池田 敦司(いけだ あつし) 株式会社サンプラットフットボールクラブ 代表取締役社長	
サンフレッチェ広島	小谷野 薫 株式会社サンフレッチェ広島 代表取締役社長	織田 秀和(おりた ひでかず) 株式会社サンフレッチェ広島 代表取締役社長	
徳島ヴォルティス	新田 広一郎 株式会社徳島ヴォルティス 代表取締役社長	岸田 一宏(きした かずひろ) 株式会社徳島ヴォルティス 代表取締役社長	
ロアッソ熊本	永田 求 株式会社アスリートクラブ熊本 代表取締役会長	池谷 友良(いけや ともよし) 株式会社アスリートクラブ熊本 代表取締役社長	

参与選任

Jリーグは1月20日に開催した理事会で、2015年1月31日付でFC東京の実行委員を退任する阿久根謙司氏を参与に選任した。

参 与		敬称略
氏名	実行委員在任期間	
阿久根 謙司	2011年1月～15年1月(在任期間4年)	

スカパーJSATと海外放送権契約について合意

Jリーグは、スカパーJSAT株式会社(東京都港区、代表取締役 執行役員社長:高田 真治)との、2015～2019シーズンの海外放送権契約について合意した。

Jリーグ 海外放送権契約について	
契約者	スカパーJSAT株式会社/株式会社Jリーグメディアプロモーション
契約期間	2015～2019シーズン(5年契約)
放送内容	明治安田生命 J1リーグ(Jリーグチャンピオンシップを含む) 明治安田生命 J2リーグ(J1昇格プレーオフ、J2・J3入れ替え戦を含む) Jリーグヤマザナビスコカップ 富士ゼロックススーパーカップ
権利内容	日本を除く全世界での放送権・インターネット配信権(サブライセンス権を含む)
備 考	J1リーグ戦は2014シーズン、世界70カ国で放送された。2015シーズン以降も世界各国でより多くの人々に見ていただけるよう関係各社と協力し、露出拡大に努めていく。 (1)スカパーJSAT株式会社がインドネシア、ミャンマーで展開中の「WAKUWAKU JAPAN」で、今シーズンも継続してJリーグの放送を行う。 (2)「Jリーグオンデマンド」アプリでJリーグを視聴している契約者は、明治安田生命 J1・J2リーグを海外でも楽しめるようになる。 配信コンテンツ、対象国、視聴方法など詳しくはスカパー! オンデマンド公式サイトを参照。

Jリーグ百年構想クラブ 審査結果

Jリーグは2月23日に開催した理事会で、「Jリーグ百年構想クラブ」への申請について審議した結果、鹿児島ユナイテッドFCを「Jリーグ百年構想クラブ」として承認した。クラブの概要は下記のとおり。

鹿児島ユナイテッドFC		敬称略
法 人 名	株式会社鹿児島プロスポーツプロジェクト 代表取締役:徳重 剛	
所 在 地	鹿児島県鹿児島市鴨池新町39-11	
所 属 リーグ	日本フットボールリーグ(JFL)	
ホームタウン	鹿児島市	ホームスタジアム 鹿児島県立鴨池陸上競技場

【注】「Jリーグ準加盟クラブ」は、2014年に呼称変更し、「Jリーグ百年構想クラブ」となった。

【参考】Jリーグ百年構想クラブ(2015年2月23日現在)
ヴァンラーレ八戸(JFL)/栃木ウーヴァFC(JFL)/tonan前橋(関東サッカーリーグ1部)/アスルクラロ沼津(JFL)/奈良クラブ(JFL)/鹿児島ユナイテッドFC(JFL)

イラン・プロフェッショナル・フットボールリーグとのパートナーシップ協定締結

公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は2015年1月23日、イラン・プロフェッショナル・フットボールリーグ(イランリーグ)とのパートナーシップ協定を締結した。Jリーグとイランリーグは、今回の提携をきっかけとして、両国のフットボール発展のためにコミュニケーション、マーケティング、大会運営、アカデミーなどのさまざまな分野で協力し、プロリーグの組織、マネジメントの質向上と効率化を目指す。

マレーシア・スーパー・リーグとのパートナーシップ協定締結

公益社団法人 日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は2015年2月2日、マレーシア・スーパー・リーグ(マレーシアリーグ)とのパートナーシップ協定を締結した。Jリーグにとって、海外のプロリーグとのパートナーシップ協定締結は、タイ、ベトナム、ミャンマー、カンボジア、シンガポール、インドネシア、イランに続いて8件目となる。Jリーグとマレーシアリーグは、今回の提携をきっかけとして、両国のフットボール発展のためにコミュニケーション、マーケティング、大会運営、アカデミーなどのさまざまな分野で協力し、プロリーグの組織、マネジメントの質向上と効率化を目指す。なお、本年6月ごろにマレーシアのクアラルンプール市内で発表記者会見の開催を予定している。

2015年度 地域スポーツ振興活動および介護予防事業への支援を決定

Jリーグは、Jクラブが実施するサッカー以外の地域スポーツ振興活動および介護予防事業に支援を行っており、15年度の申請分(15年3月10日)を締め切りとして追加募集を行う)として、23クラブ55件の支援を決定した。

「バニシング・スプレー」の導入を決定

Jリーグは「バニシング・スプレー」を、2015 Jリーグ公式試合において導入することを決定した。

バニシング・スプレー	
目 的	リスタート時間の短縮などにより、よりスピーディーな試合展開の実現を目指すため
商 品 名	9・15 FAIR PLAY社(アルゼンチン)「9・15 FAIR PLAY LIMIT」 ※Jリーグオフィシャルエクイップメントパートナーの株式会社モルテンが販売 代理店として春ごろから全国のスポーツ店で販売する
導入時期	2015シーズンより
対象大会	明治安田生命 J1リーグ、明治安田生命 J2リーグ、Jリーグヤマザナビスコカップの全試合、FUJII XEROX SUPER CUP、J1昇格プレーオフ、J2・J3入れ替え戦、Jリーグチャンピオンシップ ※明治安田生命 J3リーグは対象外

早稲田大学人間科学部 eスクール 特別選抜入試

早稲田大学では、2007年より人間科学部eスクールにスポーツ分野の特別選抜枠を設けており、15年度はJリーグから3人の選手が応募、選考の結果、全員の合格が決定した。合格選手は、以下の3人。今後はJリーグ選手としてプレーを続けながら、通信課程で単位を取得する。

2015年度早稲田大学人間科学部 eスクール(通信教育課程) 特別選抜入試合格者	
■健康福祉科学科	西本 雅崇(にしもと まさたか)/セレッソ大阪
■人間情報科学科	浦田 樹(うらた いつき)/ジェフユナイテッド千葉 小川 諒也(おがわ りょうや)/FC東京

アイデムカップ2015 フットサル大会を後援

Jリーグは2月23日に開催した理事会で、Jリーグトップパートナーの株式会社アイデムが主催する「アイデムカップ2015フットサル大会」を後援することを決定した。同大会は、求人情報を通して地域を活性化するという同社の理念を体現すべく、さまざまな地域での開催により、就職活動を控えた大学生同士のコミュニケーションを広げる役目を果たしている。

アイデムカップ2015フットサル大会	
主 催	株式会社アイデム
運営・協力	株式会社ソル・メディア、スポーツマネジメント株式会社、日本ブラインドサッカー協会
大 会 数	全国58大会(予定)
開催時期	2015年2～12月
参加資格	選手全員が大学生で構成されたチーム

「2015 Jリーグ女子マネージャー」として佐藤 美希さんを任命

Jリーグは、タレント・モデルの佐藤 美希(さとう みき)さんを「2015 Jリーグ女子マネージャー(略称:女子マネ)」として任命した。2010年から3シーズン、女子マネを務めた足立梨花さんの後任として、佐藤さんの持つ爽やかな魅力と笑顔で、一人でも多くの方々(女性や若年層)が新たにサッカーやJリーグに興味を持ていただくことを期待し、今回の任命に至った。

2015 Jリーグ女子マネージャー	
	佐藤 美希 [タレント、モデル] 第38回 ホリプロタレントスカウトキャラバン2013 グランプリ受賞 (プロフィール) ・生年月日:1993年6月26日(21歳) ・出身地:栃木県 ・血液型:B型 ・趣味特技:柔道、クラシックバレエ、ウオーキング (佐藤美希公式ホームページ) http://www.horipro.co.jp/satomiki/ (主な出演作品) non-no専属モデル、フジテレビ「めざましテレビ」内「イマドキ」レギュラー出演中、 日本テレビ「ネリさまぁ〜ず」レギュラー出演中、永谷園「彩りごはん」CM出演中
	◆佐藤 美希さんコメント(抜粋) 「私は1993年生まれてJリーグと同じ年の21歳です。とても親近感があり、今回Jリーグに関わるお仕事ができとてもうれしいです。サッカーについてはまだまだ勉強中ですが、これから実際にスタジアムに行き、たくさんの試合を観戦しながら、精一杯応援してJリーグに貢献していきたいと思います」

【訂正とおわび】Jリーグニュース223号10ページ「2014 Jリーグ チェアマン総括」の本文中に、以下のような誤りがありました。訂正し、関係者の皆さまにおわびいたします。
(誤)ACLは、タイトル奪還を目指し、柏→→正)ACLは、タイトル奪還を目指し、川崎フロンターレ、…



2015 J.LEAGUE PRESS CONFERENCE

「2015 Jリーグプレスカンファレンス」開催



ピッチ上の戦いを前に、Jリーグの本格的なシーズン開幕をメディアに向けて発信する「2015 Jリーグプレスカンファレンス」が、2月19日に都内で開催された。明治安田生命 Jリーグを戦う全53チームの監督、選手代表らも参加。カラフルなユニフォームが華やかさを添える中、間近に迫った戦いへの心地よい緊張感を会場に運んできた。

©J.LEAGUE PHOTOS

明治安田 J 1 の選手たちは開幕戦のカードごとにステージへ登場。カラフルな中にも新たな戦いに向けた心地よい緊張感を会場に運んできた

リーグ戦開幕前の恒例行事となっているイベントで、昨年までの Jリーグキックオフカンファレンスから「Jリーグプレスカンファレンス」と改称して開催された。

シアター形式の第1部では、Jリーグの村井満チェアマンがオープニングスピーチでメディアへの謝辞を述べ、2ステージ+チャンピオンシップ制導入やAFCチャンピオンズリーグに出場するクラブへの支援など、今シーズンの重要な取り組みへの意欲を話した。スピーチに続き、

国際サッカー連盟会長賞を受賞した90歳の現役ジャーナリスト、賀川 浩氏が登壇し、チェアマンが花束を贈呈した。

その後、明治安田生命 J 1リーグの18チームを代表した選手たちが、開幕戦のカードごとにステージへ登場。村井チェアマンが「異議・遅延ゼロを目指す」ことを加えて重点実施項目が4つとなった「+Qualityプロジェクト」について説明後、選手を代表してガンバ大阪の宇佐美貴史が「2015 Jリーグ選手憲章」にサイン

した。

第2部の会場には52クラブやJリーグ関連の特設ブースが設置され、監督や選手らがメディアのインタビューなどに対応した。

また、会場の一角では新たな Jリーグ女子マネージャーの発表会が行われ、第38回ホリプロタレントスカウトキャラバン2013グランプリ受賞の佐藤美希さんが、村井チェアマンから任命状を手渡された。前女子マネージャーの足立梨花さんも駆け付け、後輩にエールを送った。



第1部でオープニングスピーチを行う村井チェアマン



村井チェアマン(右)が賀川氏に花束を贈呈



選手を代表して宇佐美(右)が Jリーグ選手憲章にサイン



第2部の会場では選手や監督らがメディアの取材を受けた



新女子マネの佐藤さん(左)。前女子マネの足立さんも応援に



アジア事業や人材育成など、Jリーグの取り組みも紹介

